100年に一度の大不況？昔はもっと酷かった！
絶対に首を切らなかった
日本の「名経営者」8人

FLASH（光文社刊）　2009年2月24日号より転載

昨年末FLASH編集部より特集に使いたいので17故美川英二さんの写真があれば提供して頂けないかとのメールが事務局に届きました。手元にないので兄上の13美川州平さんに問い合わせようと思っていた矢先、追いかけて良い写真が見つかったので結構ですとのメールがありました。ことのついでに良い記事だったらぜひ転載させてもらいたいと逆にお願いした所、2月早々発売前のFLASHが届きました。

若手ビジネスマンを対象にしており、美女の写真やゴシップ記事満載ですが、今回の特集の他にも為になるカタイ記事が随所にちりばめられていて、硬軟取り混ぜた面白い雑誌でした。

いつから「リストラ」は企業経営者の『功績』になったのか。敗戦、石油ショック…今より酷い状況でも雇用を守り、そして会社も発展させた社長が日本にはいた。この国から消えたサムライたちの『悪戦苦闘』を今こそ見よ！

と誰もが賛同する名経営者8名の記事が並びます。

サントリー　佐治敬三
創業以来1人の首も切らず1兆4千億円企業に

松下電器　松下幸之助
世界大恐慌に「1人も解雇したらあかん」と宣言
意気に感じた社員が総出で在庫を売り尽くした！

花王　後藤卓也
事業撤退でピンチ…雇用を守った社員が大ヒット商品を

出光　出光佐三
敗戦で石油事業が停止…始めた新事業が発展の礎に！

ヤマト運輸　小倉昌男
人員整理を経験、二度とやりたくないと決心…晩年は福祉活動の道へ

横河電機　美川英二
「何としてでも食わせます」―合併で受け入れた社員も守りきった

京セラ　稲森和夫
余剰人員は草むしりに回してでも…石油ショックでも1人も解雇せず！

キャノン　御手洗　毅
甥っ子の『派遣切り』をどう思う…「家族主義経営」を標榜した創業者